

I 調査結果の概要

飲食店営業（一般食堂）

1 一般的事項

(1) 経営主体

調査対象となった397施設について経営主体別にその割合を見ると「個人経営」が79.3%、次いで「有限会社」が10.8%、「株式会社」が9.1%となっている。

また、構成割合を前回の平成15年調査と比べると「個人経営」が23.4ポイント上昇したのに対し、「有限会社」では20.8ポイント低下している。

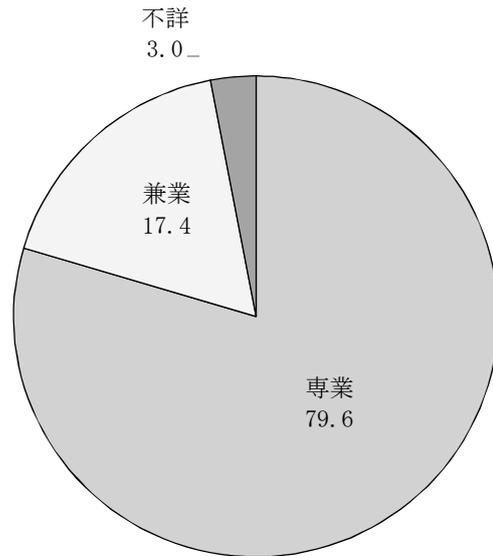
(表1) 経営主体別施設数及び構成割合

区 分		平成9年	平成15年	平成20年
施 設 数	総 数	2,064	689	397
	個人経営	1,345	385	315
	株式会社	221	79	36
	有限会社	472	218	43
	そ の 他	26	7	3
構 成 割 合 (%)	総 数	100.0	100.0	100.0
	個人経営	65.2	55.9	79.3
	株式会社	10.7	11.5	9.1
	有限会社	22.9	31.6	10.8
	そ の 他	1.3	1.0	0.8

(2) 専業・兼業の別

専業・兼業別に全体の施設数の構成割合を見ると、「専業」が79.6%、「兼業」が17.4%となっている。

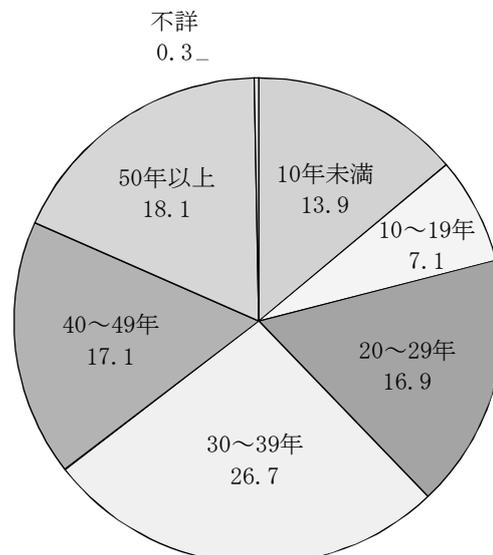
(図1) 専業・兼業別施設数の構成割合(単位:%)



(3) 創業年

創業年別に全体の施設数の構成割合を見ると、「30～39年」が26.7%と最も高く、次いで「50年以上」が18.1%となっている。

(図2) 創業年別施設数の構成割合(単位:%)



(4) 店舗の形態

店舗の形態別に全体の施設数の構成割合を見ると、「単独店（支店を持たない本店）」が92.7%と最も高くなっている。

また、経営主体別に見ると、「個人経営」、「株式会社」「有限会社」全てにおいて、「単独店」が最も高くなっている。

(表2) 店舗形態、経営主体別施設数及び構成割合

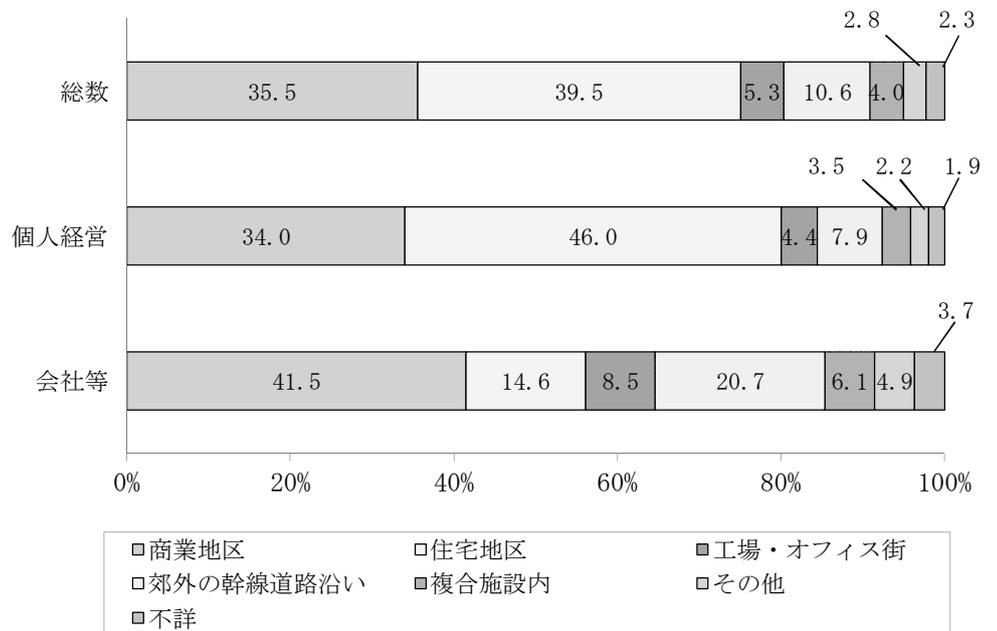
区 分		総数	単独店	本店	支店	不詳
施 設 数	総 数	397	368	17	12	-
	個人経営	315	307	6	2	-
	株式会社	36	23	5	8	-
	有限会社	43	35	6	2	-
	その他	3	3	-	-	-
構 成 割 合 (%)	総 数	100.0	92.7	4.3	3.0	-
	個人経営	100.0	97.5	1.9	0.6	-
	株式会社	100.0	63.9	13.9	22.2	-
	有限会社	100.0	81.4	14.0	4.7	-
	その他	100.0	100.0	-	-	-

(5) 立地条件

立地条件別に全体の施設数の構成割合を見ると、「住宅地区」が39.5%と最も高くなっている。

また、経営主体別に見ると、「個人経営」では、「会社等」に比べ「住宅地区」が高く、「工場・オフィス街」、「郊外の幹線道路沿い」が低くなっている。

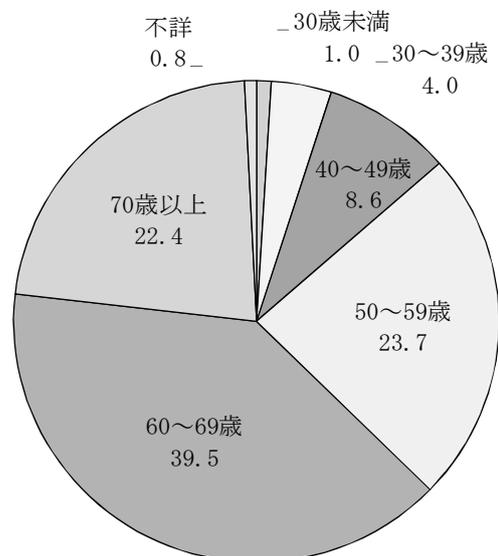
(図3) 立地条件、経営主体別施設数の構成割合



(6) 経営者の年齢

経営者の年齢階級別に全体の施設数の構成割合を見ると、「60～69歳」が39.5%と最も高く、次いで「50～59歳」が23.7%となっている。

(図4) 経営者の年齢別施設数の構成割合 (単位: %)

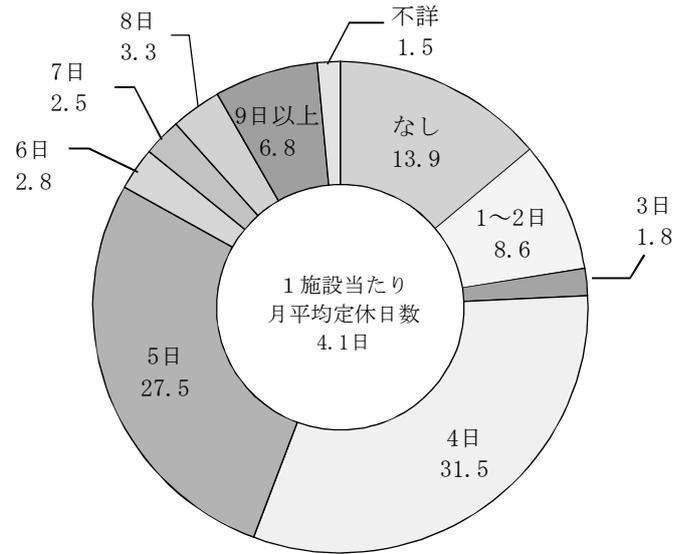


(7) 1ヶ月の定休日数

1ヶ月の定休日別に全体の施設数の構成割合を見ると、「4日」が31.5%と最も高くなっている。

また、1施設当たりの1ヶ月の平均定休日数は4.1日となっている。

(図5) 1ヶ月の定休日数の構成割合 (単位: %)

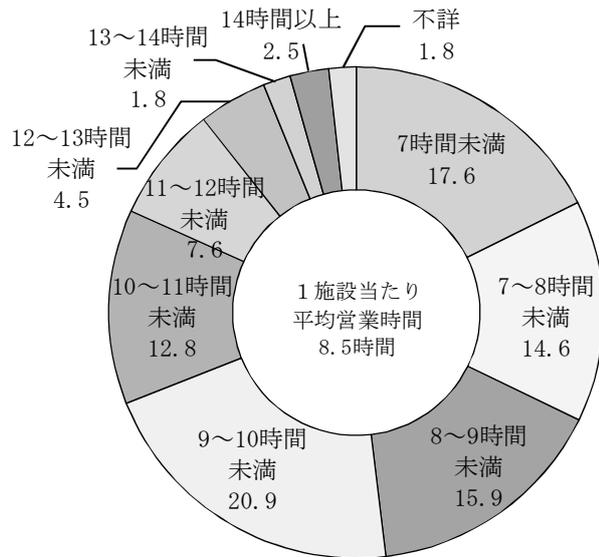


(8) 1日の営業時間

1日の営業時間別に施設数の構成割合を見ると、「9~10時間未満」が20.9%、次いで「8~9時間未満」が15.9%となっている。

また、1施設当たりの平均営業時間は8.5時間となっている。

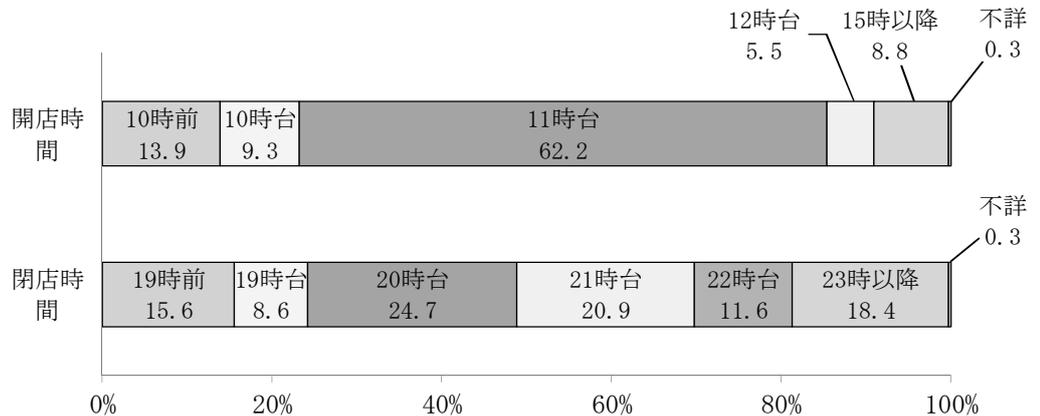
(図6) 1日の営業時間別施設数の構成割合 (単位: %)



(9) 開店時間と閉店時間

開店時間・閉店時間に施設数の構成割合を見ると、開店時間では、「11時台」が62.2%と最も高く、閉店時間では「20時台」が24.7%と最も高くなっている。

(図7) 開店時間・閉店時間別施設数の構成割合



2 経営に関する事項

(1) 1日の平均客数と客1人平均食事単価

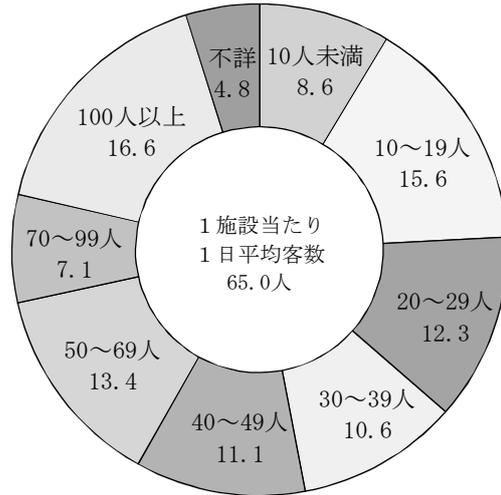
1日平均客数別施設数の構成割合を見ると、「100人以上」が16.6%と最も高く、次いで「10～19人」が15.6%、「50～69人」が13.4%となっており、1施設当たりの1日平均客数は65.0人となっている。

また、経営主体について、1日平均客数別施設数の構成割合を見ると、「個人経営」では「10人未満」が100%と最も高く、「株式会社」では「100人以上」が42.4%、「有限会社」にお

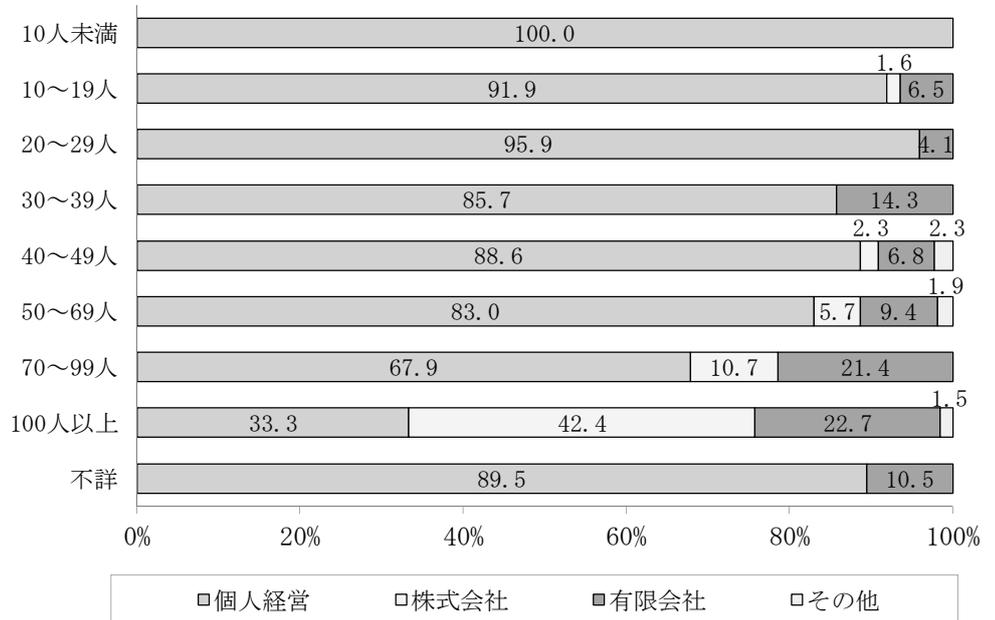
いても「100人以上」が22.7%となっており、1施設当たりの1日平均客数の最も多いのは「株式会社」で、252.2人となっている。

次に、経営主体別に客1人平均食事単価を見ると、「個人経営」が975円と最も高く、「株式会社」の833円に対して、約142円高くなっている。

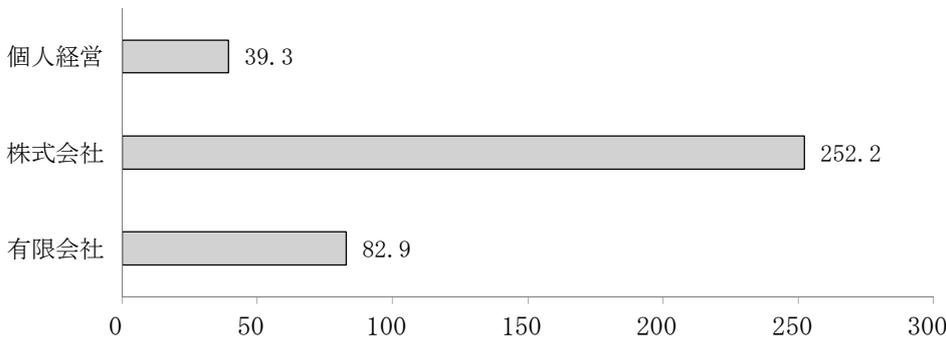
(図8) 1日平均客数の構成割合 (単位: %)



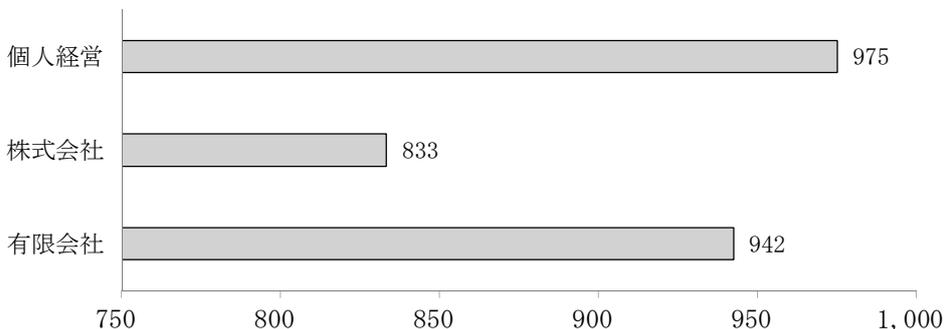
1日平均客数別施設数の構成割合



経営主体別1施設当たり1日平均客数 (単位: 人)



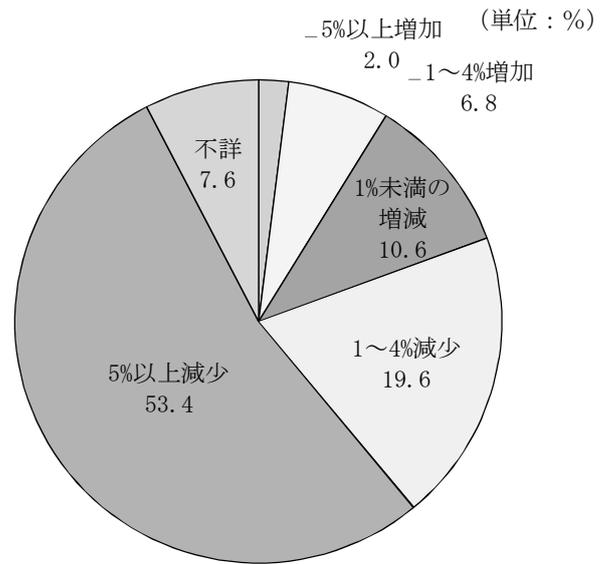
経営主体別客1人平均食事単価 (単位: 円)



(2) 前年度と比較した今年度の売上

前年度と比較した今年度の売上の施設数の構成割合を見ると、「5%以上減少」が53.4%と最も高く、次いで「1~4%減少」が19.6%となっており、1%以上減少している施設は、全体の7割以上を占めている。

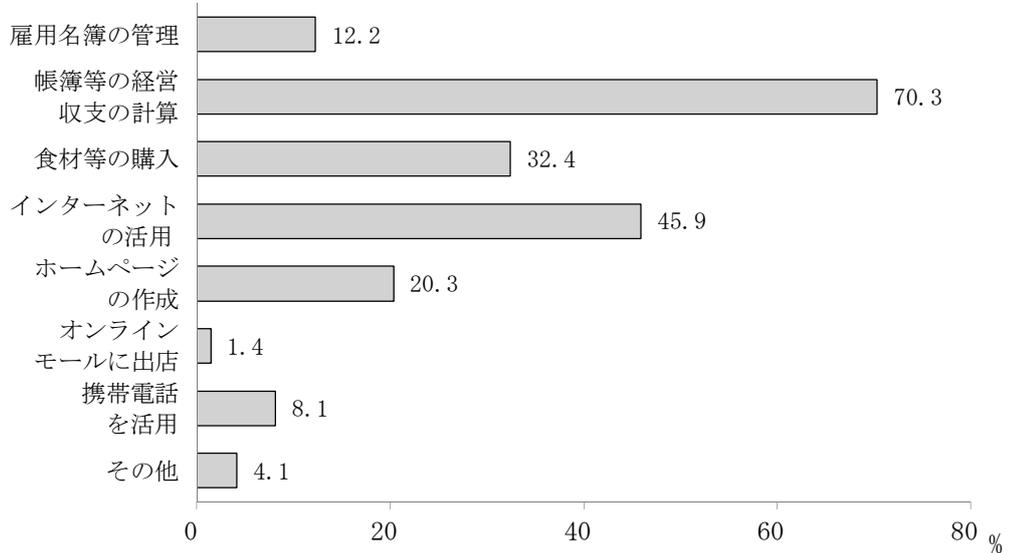
(図9) 前年度と比較した今年度の売上の施設数の構成割合



(3) パソコン等の導入状況

パソコン等の導入状況別施設数の割合を見ると、「帳簿等の経営収支の計算」が70.3%、「インターネットの活用」が45.9%、「食材等の購入」が32.4%と高くなっている。

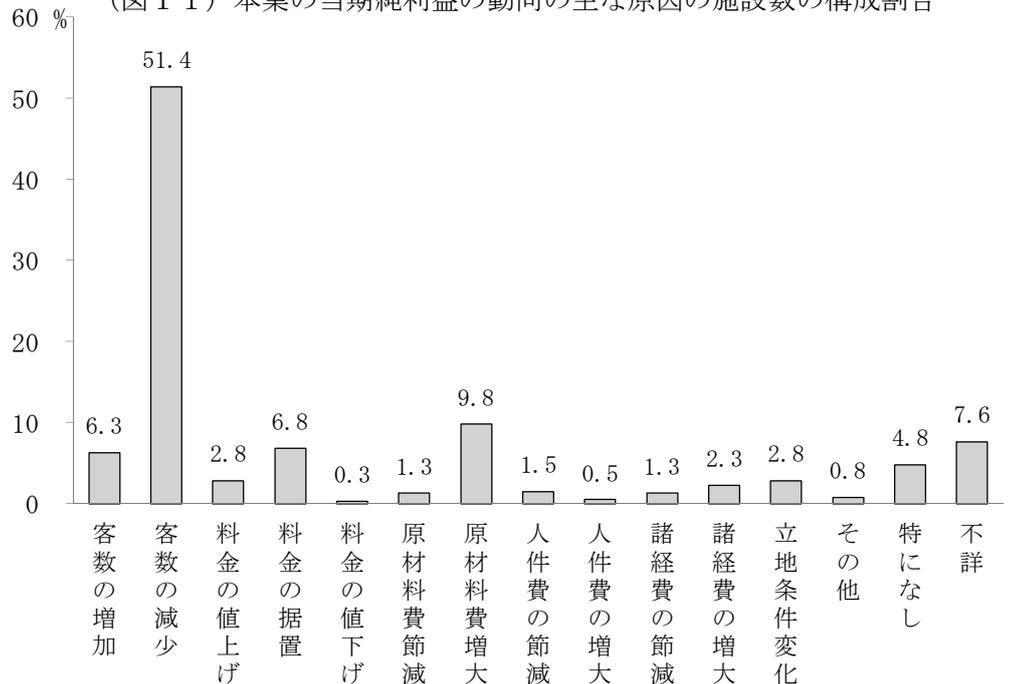
(図10) パソコン等の導入状況別施設数の構成割合 (複数回答)



**(4) 本業の当期純利益の
動向の主な原因**

当期純利益の動向の主な原因を見ると、「客数の減少」が51.4%となっており、それ以外の原因と比べ極端に高くなっている。

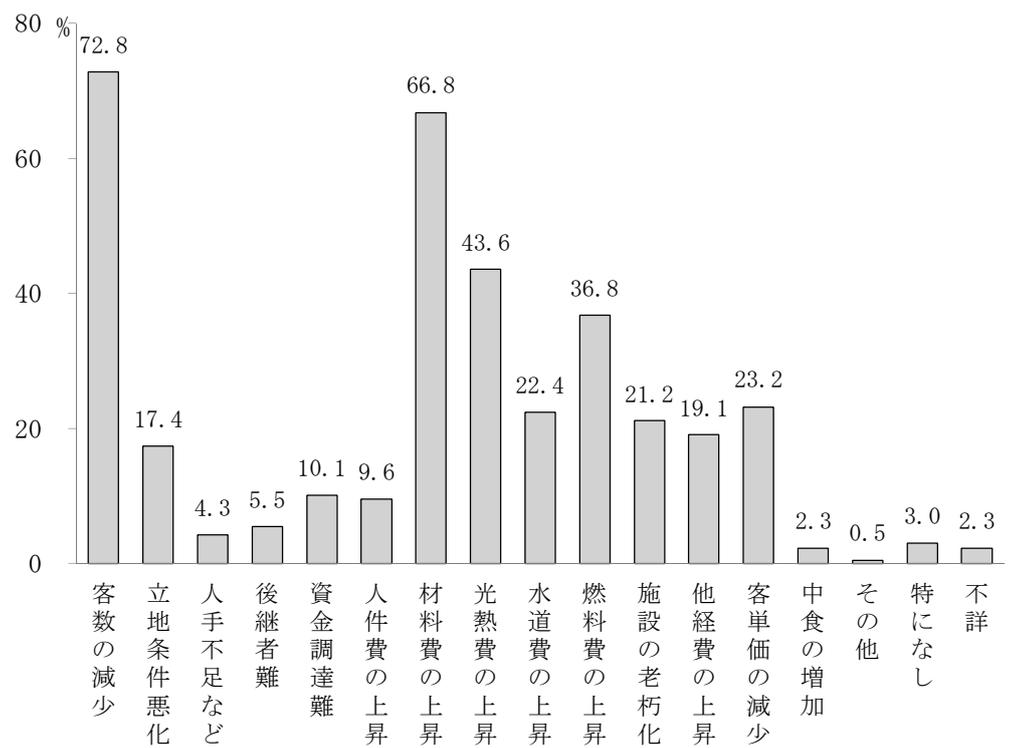
(図11) 本業の当期純利益の動向の主な原因の施設数の構成割合



(5) 経営上の問題点

経営上の問題点別に施設数の割合を見ると、「客数の減少」が72.8%、「材料費の上昇」が66.8%、「光熱費の上昇」が43.6%、「燃料費の上昇」が36.8%と高くなっている。

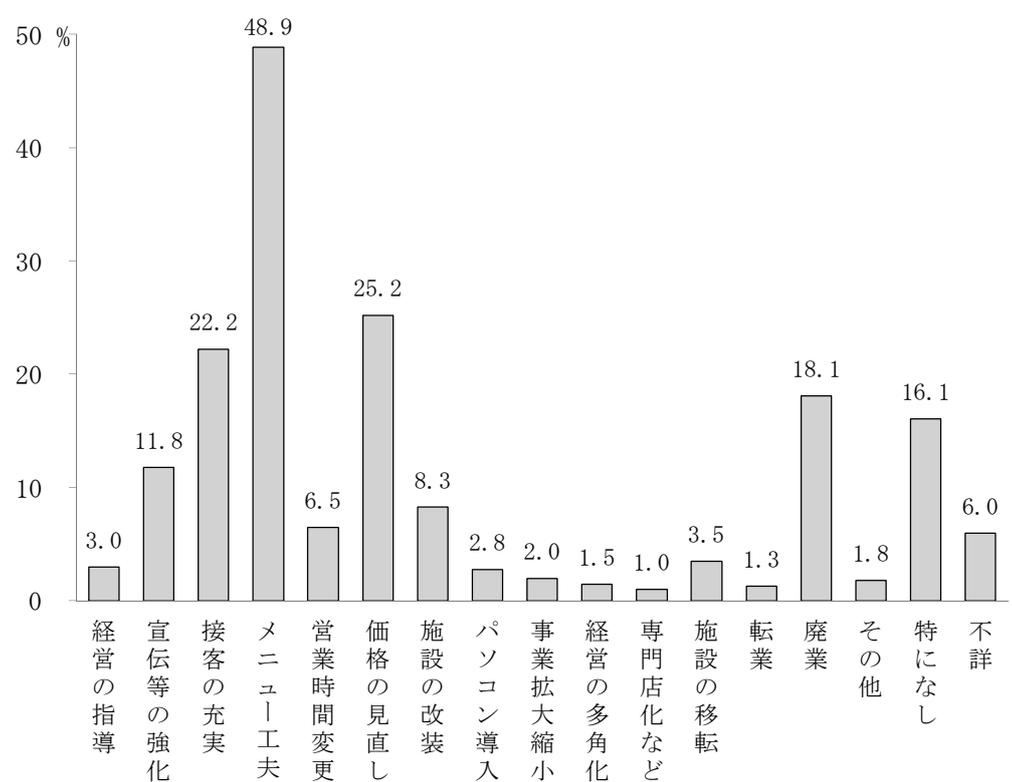
(図12) 経営上の問題点別施設数の構成割合 (複数回答)



(6) 今後の経営方針

今後の経営方針別に施設数の割合を見ると、「食事メニューの工夫」が48.9%、「価格の見直し」が25.2%、「接客サービスの充実」が22.2%と高くなっている。

(図13) 今後の経営方針別施設数の構成割合 (複数回答)



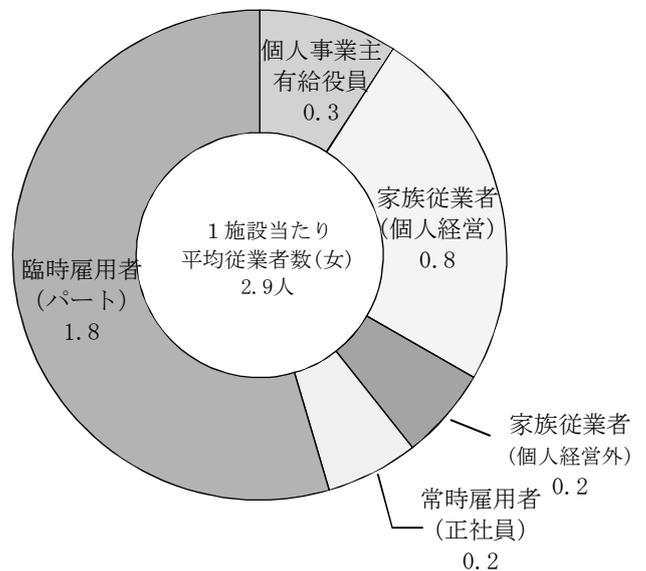
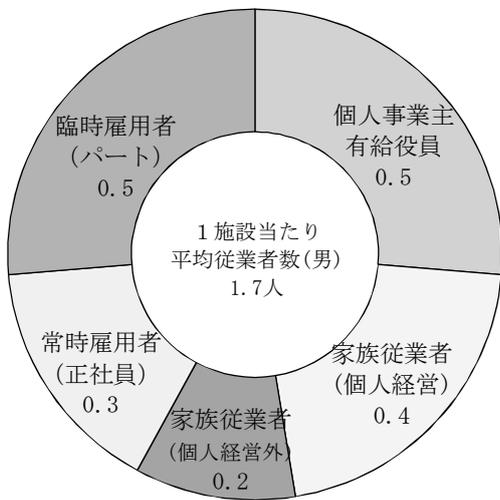
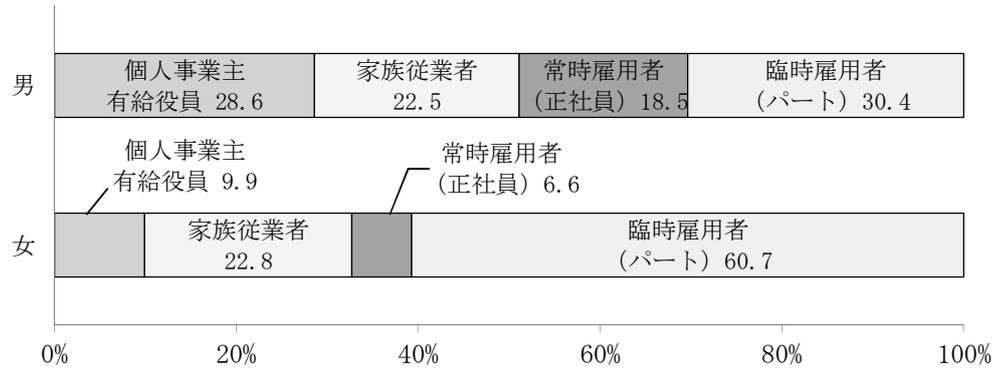
3 従業者に関する事項

(1) 従業者数

従業者数の1施設当たり平均従業者数を見ると、男性1.7人、女性2.9人となっている。

また、雇用形態の構成割合を見ると、男性、女性ともに「臨時雇用者（パート）」がそれぞれ30.4%、60.7%と最も高くなっている。

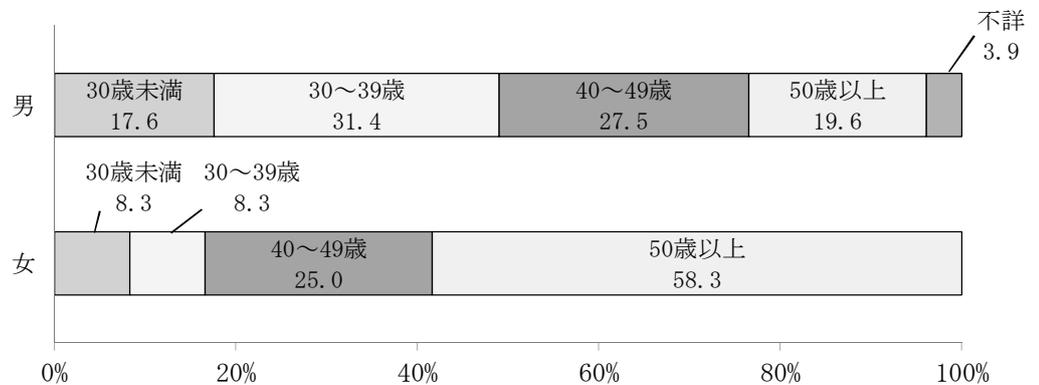
(図14) 従業者数、雇用の形態別従業者の構成割合



(2) 常時雇用者の性別年齢

常時雇用者（正社員）の性別平均年齢別施設数の構成割合を見ると、男性は「30～39歳」が31.4%、女性は「50歳以上」が58.3%と最も高くなっている。

(図15) 常時雇用者の性別平均年齢別施設数の構成割合

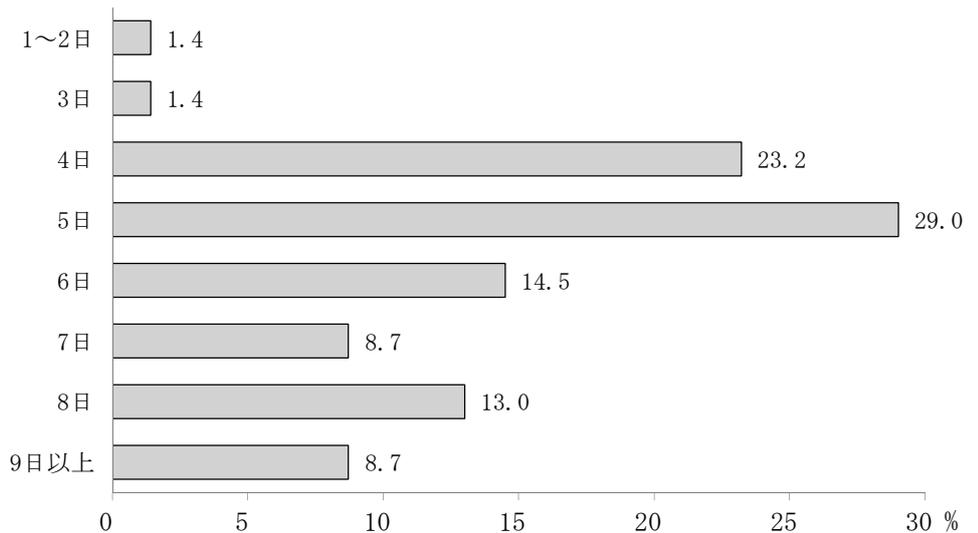


(3) 常時雇用者のいる施設の月平均休日数の月平均休日数

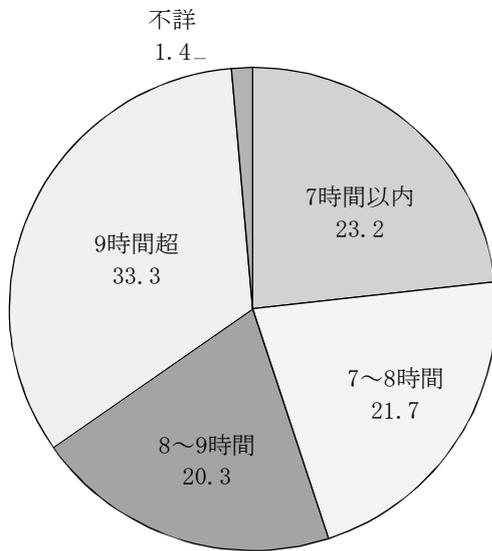
常時雇用者（正社員）がいる施設の1ヶ月の平均休日数は、「5日」が29.0%と最も高く、次いで「4日」が23.2%、「6日」が14.5%となっている。

また、1施設当たり平均休日日数は5.8日となっている。

(図16) 常時雇用者の月平均休日数別施設数の構成割合



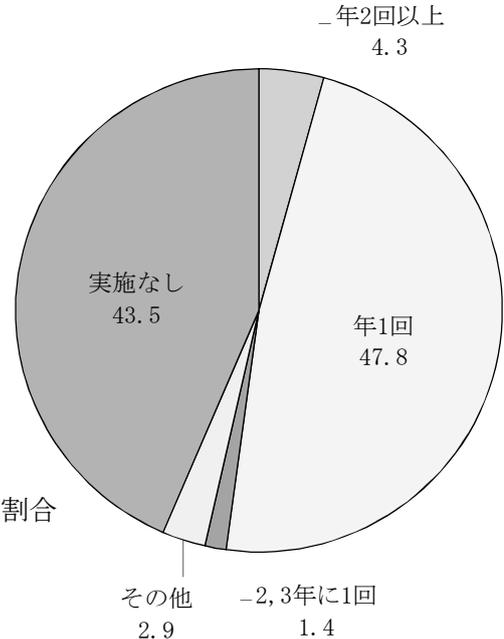
(図17) 常時雇用者の1日平均労働時間別施設数の構成割合 (単位: %)



(4) 常時雇用者のいる施設の1日平均労働時間

常時雇用者（正社員）の1日の平均労働時間は、「9時間超」が33.3%と最も高くなっている。

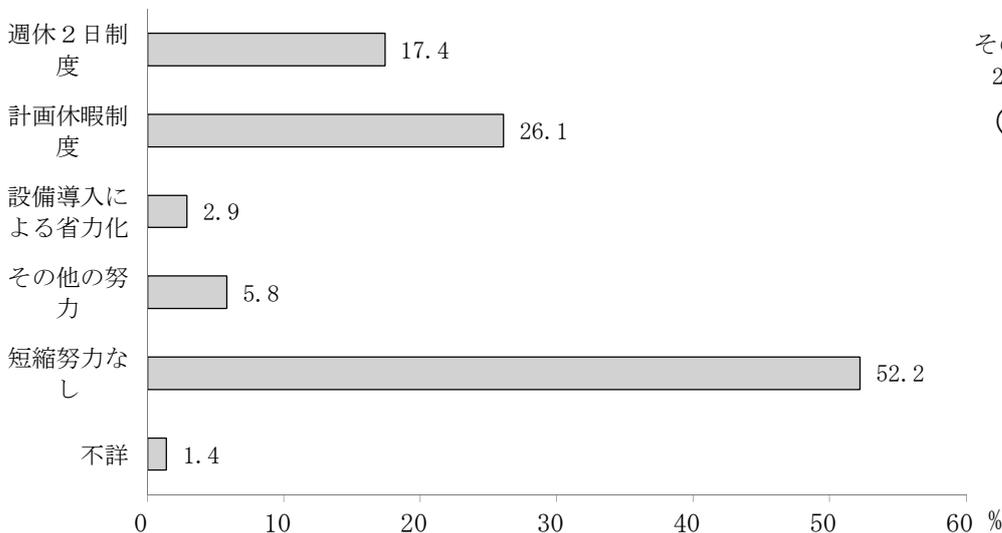
(図18) 健康診断の実施状況別施設数の構成割合 (単位: %)



(5) 健康診断の状況

健康診断の実施状況についての構成割合を見ると、「年1回」が47.8%と最も高くなっており、次いで「実施なし」が43.5%となっている。

(図19) 労働時間短縮のための努力、施設数の構成割合



(6) 労働時間短縮のための努力

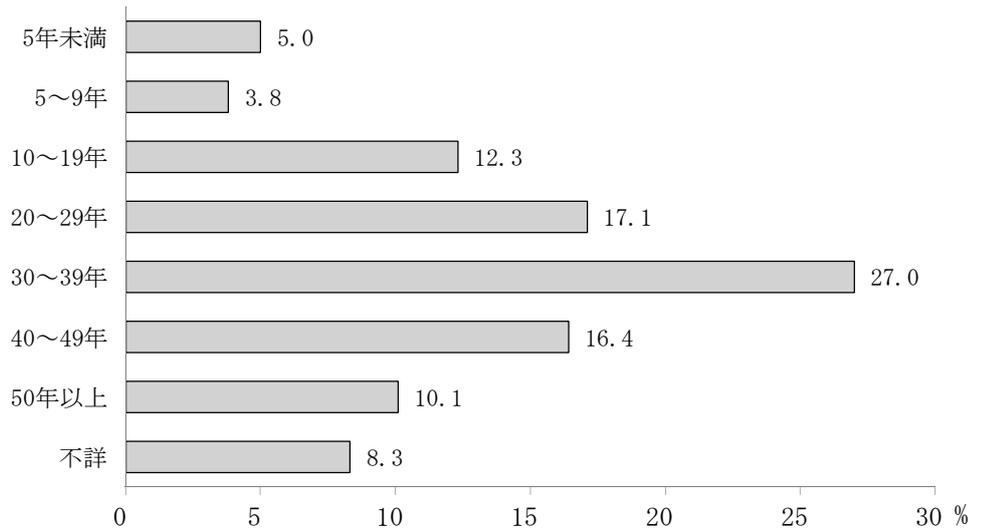
労働時間短縮のための努力（休暇制度や設備面等）をしている施設について、内容別に見ると、「計画休暇制度」が26.1%と高くなっている。

4 土地、建物及び設備等に関する事項

(1) 建物の築年数

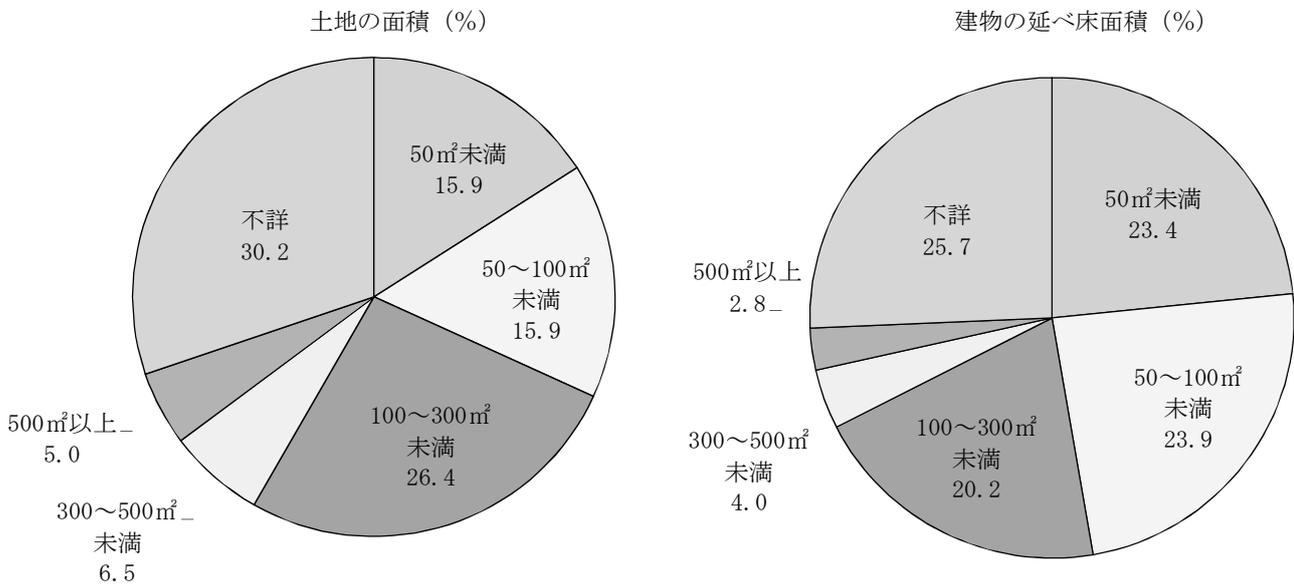
建物の築年数別施設数の割合を見ると、「30～39年」が27.0%と最も高く、次いで「20～29年」が17.1%、「40～49年」が16.4%となっている。

(図20) 建物の築年数別施設数の構成割合



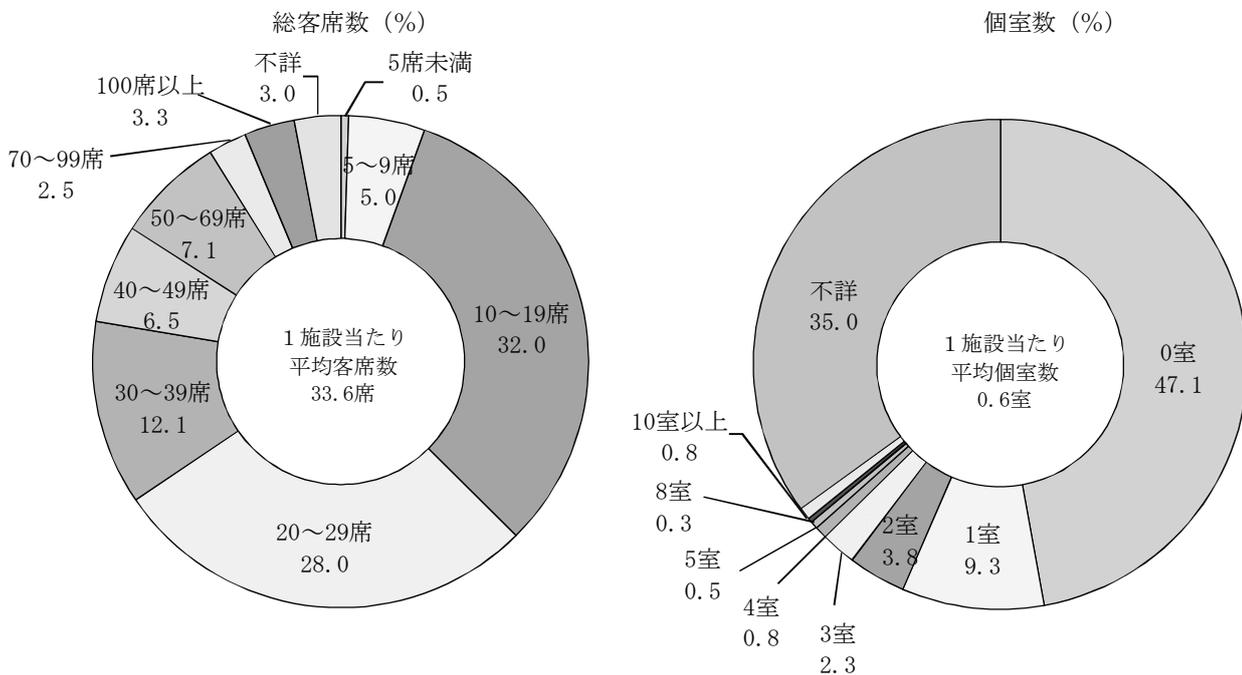
(2) 土地・建物の面積

(図21) 土地・建物の面積別施設数の構成割合



(3) 店内の広さ

(図22) 総客席数・個室数別施設数の構成割合

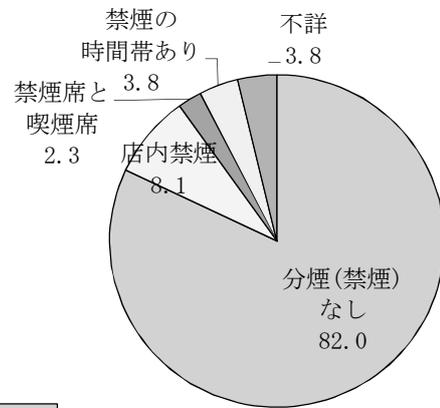
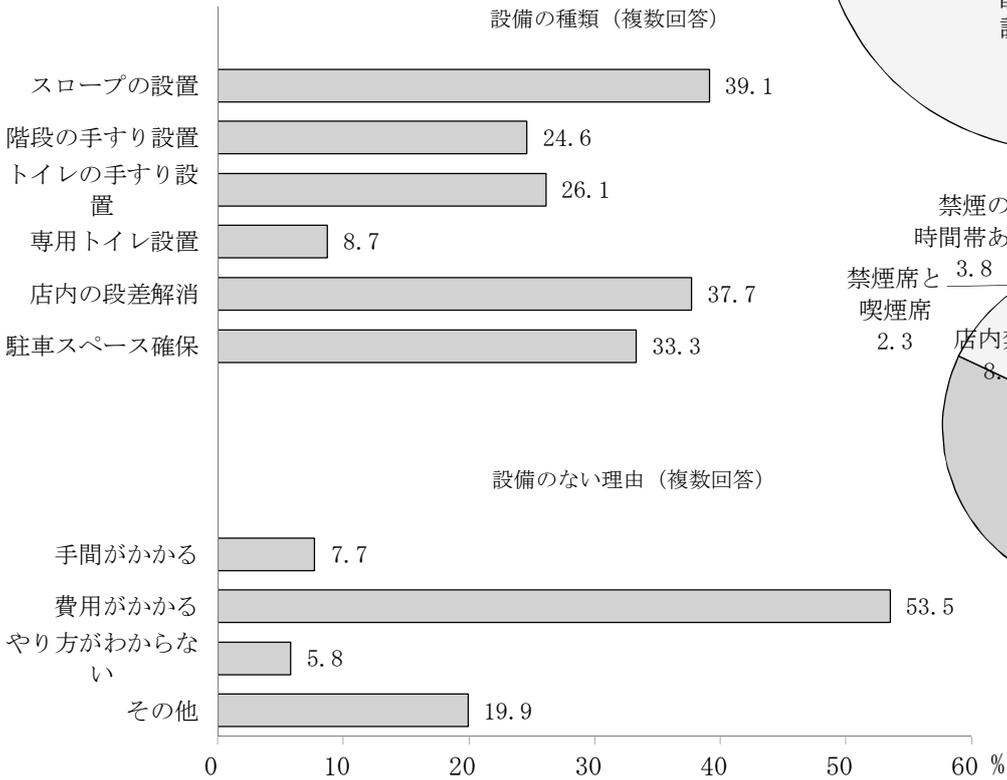
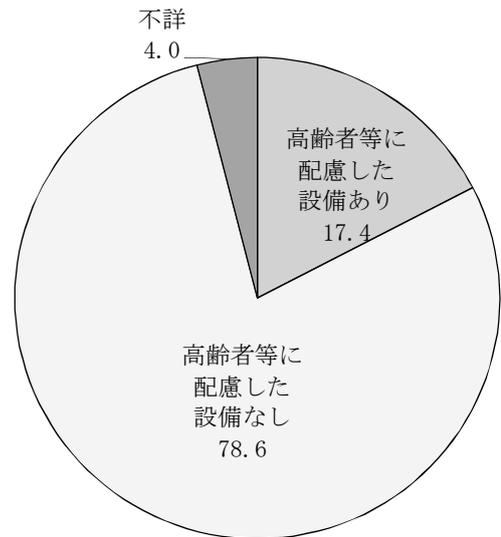


(4) 設備等の状況

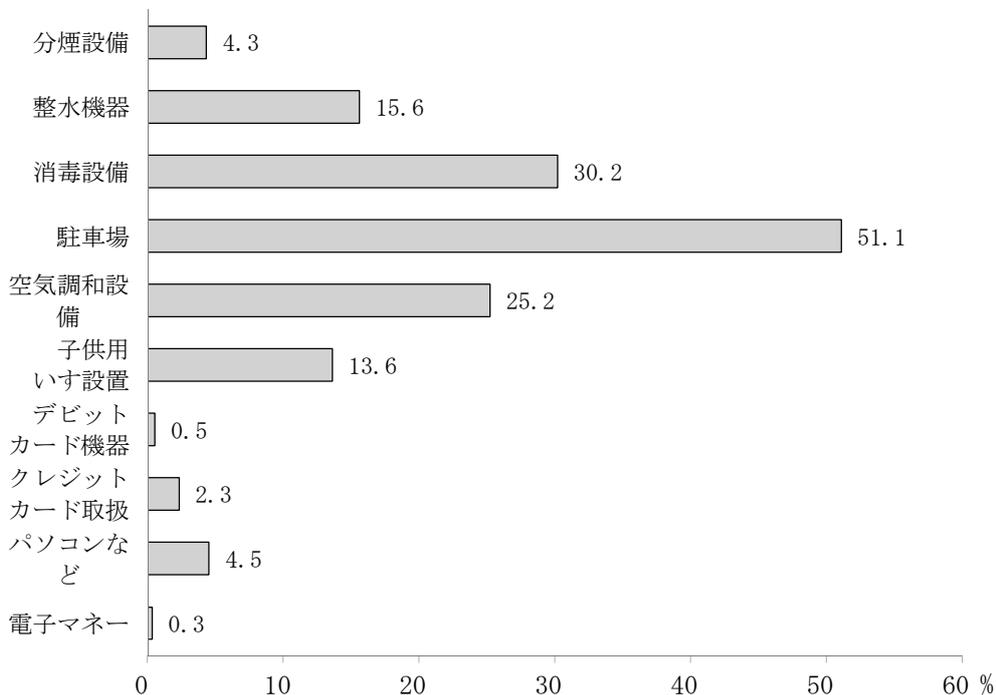
(図23) 設備投資実績の有無別施設数の構成割合 (単位: %)

高齢者等に配慮した設備の状況について割合を見ると、「あり」が17.4%で設備の種類としては、「出入口や廊下にスロープの設置又は段差の解消」が39.1%と高くなっている。

また、保有している設備等の状況については、「駐車場」が51.1%、次いで「消毒設備」が30.2%と高くなっている。



保有している設備等の状況 (複数回答)



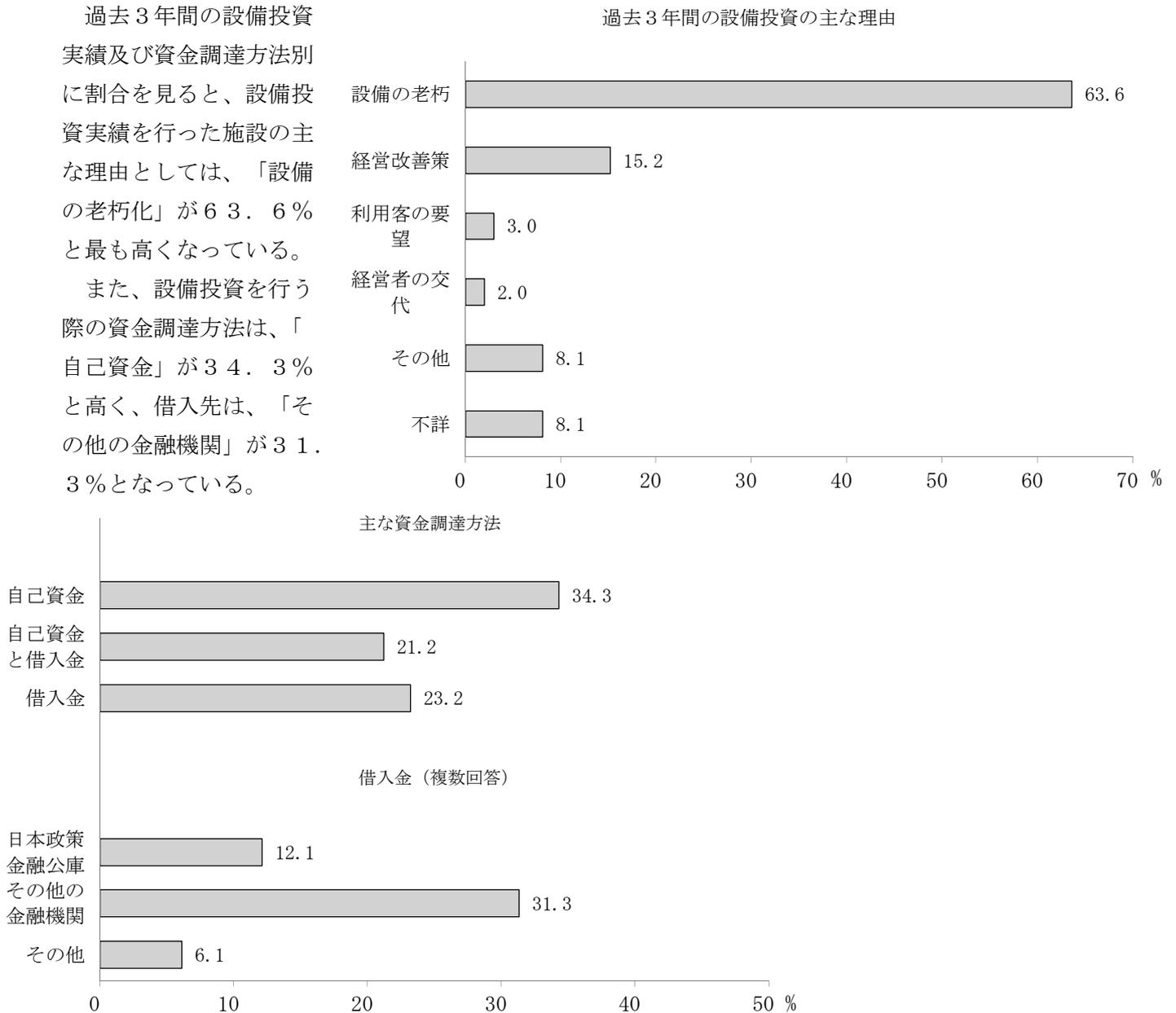
5 設備投資等に関する事項

(1) 過去3年間の設備投資実績及び資金調達方法

過去3年間の設備投資実績及び資金調達方法別に割合を見ると、設備投資実績を行った施設の主な理由としては、「設備の老朽化」が63.6%と最も高くなっている。

また、設備投資を行う際の資金調達方法は、「自己資金」が34.3%と高く、借入先は、「その他の金融機関」が31.3%となっている。

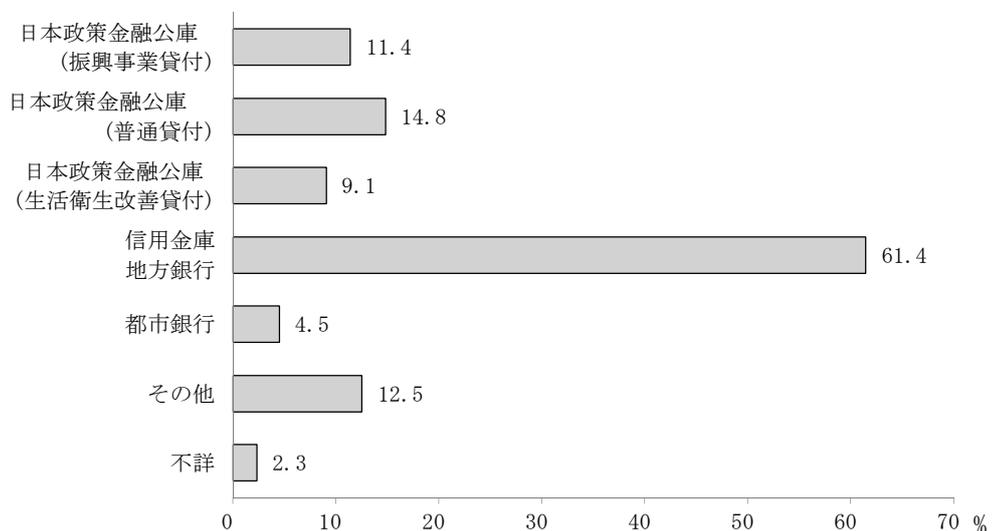
(図24) 過去3年間の設備投資実績及び資金調達方法別施設数の構成割合



(図25) 過去3年間の運転資金調達方法別施設数の構成割合 (複数回答)

(2) 過去3年間の運転資金調達方法

過去3年間の運転資金調達方法別に割合を見ると、「信用金庫・地方銀行」が61.4%と最も高く、次いで「日本政策金融公庫 (普通貸付)」が14.8%となっている。

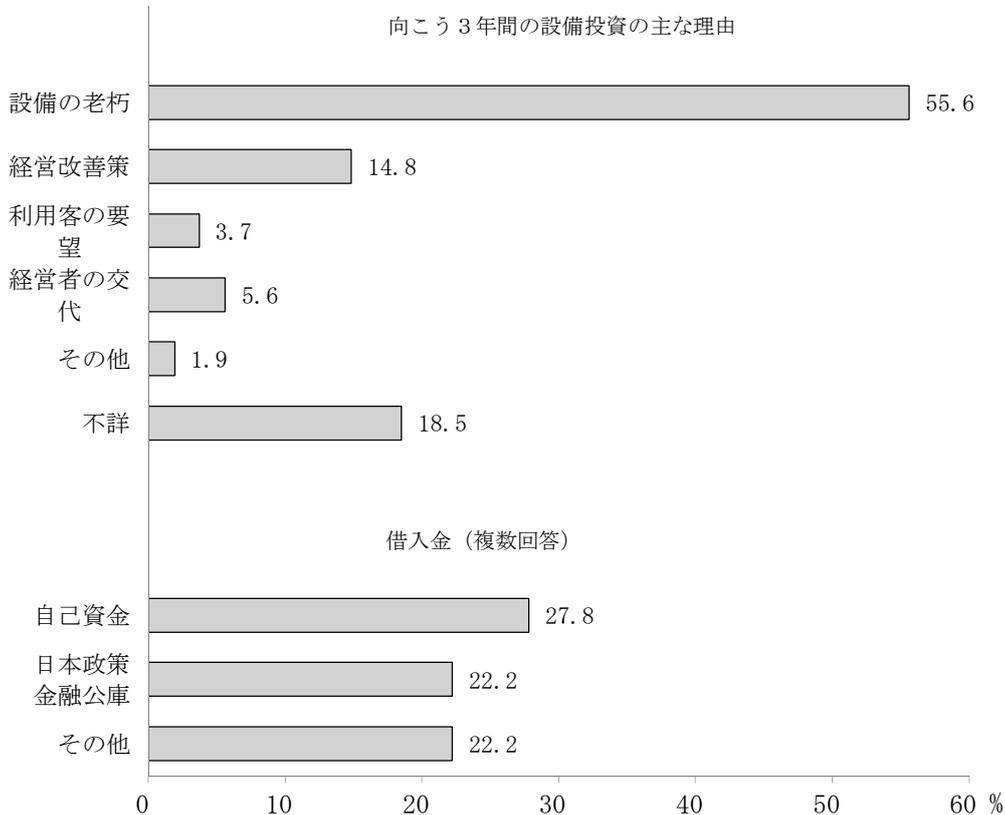
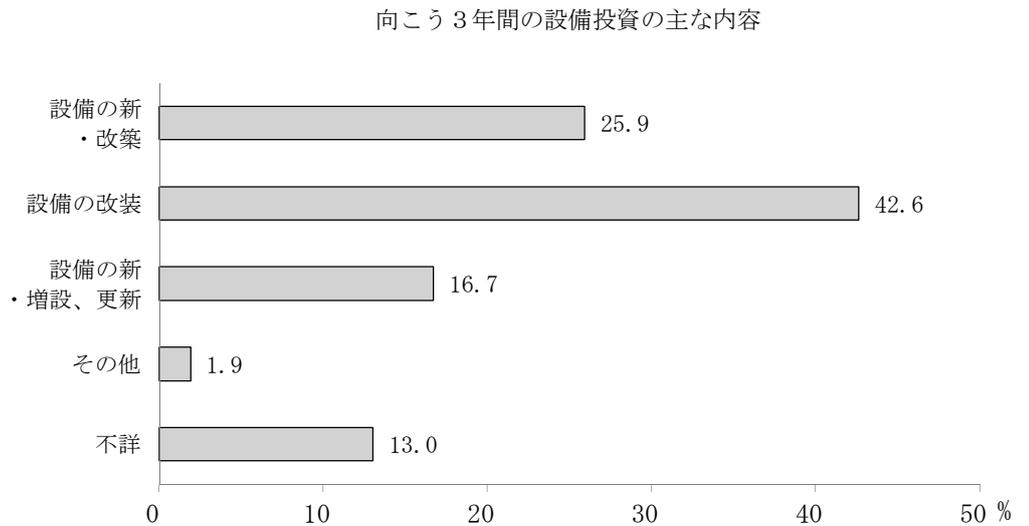


(3) 向こう3年間の設備投資予定

向こう3年間の設備投資予定及び資金調達方法別に割合を見ると、設備投資を行う予定の施設の内容としては、「設備の改装」が42.6%、理由としては「設備の老朽化」が55.6%と最も高くなっている。

また、借入先は、「自己資金」が27.8%と最も高くなっている。

(図26) 向こう3年間の設備投資予定及び資金調達方法別施設数の構成割合



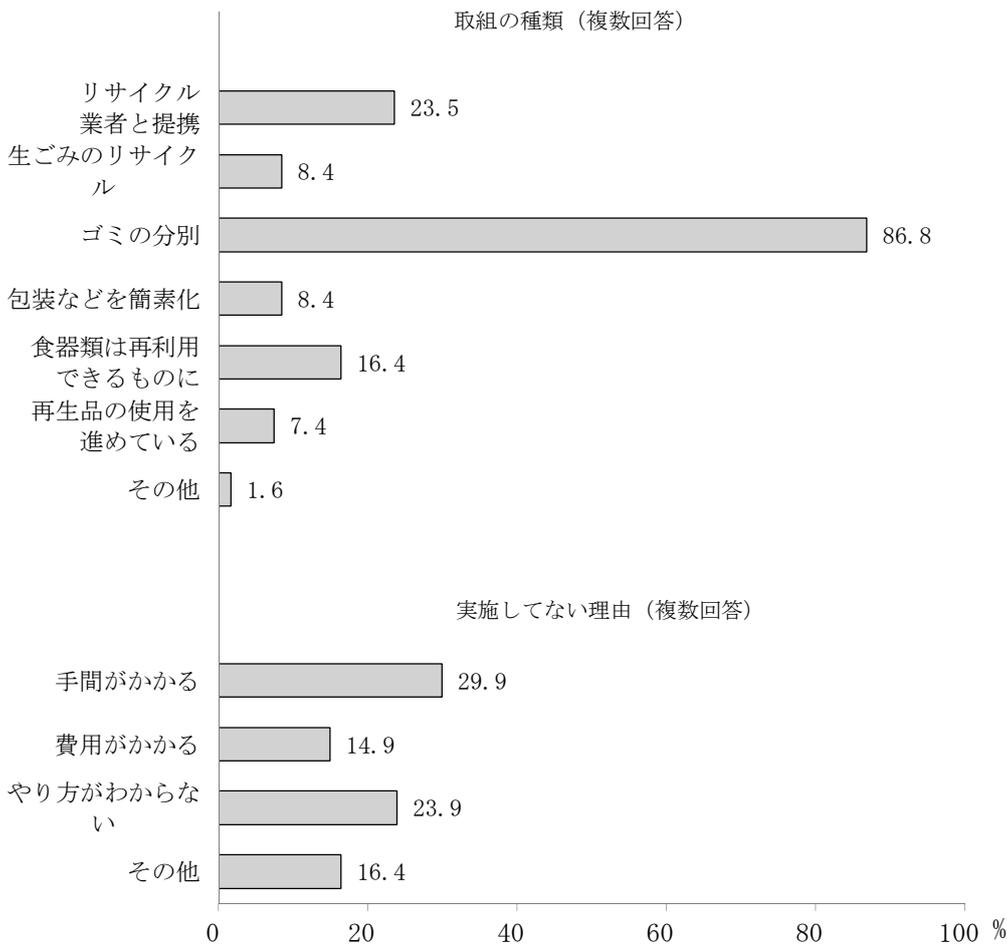
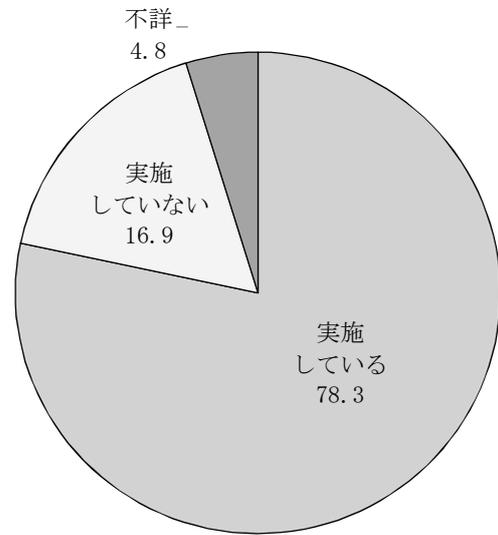
6 サービス関係の項目

(1) ゴミ減量化・リサイクル実施状況

ゴミ減量化・リサイクル実施状況について割合を見ると、「実施している」が78.3%で取組の種類としては、「ゴミの分別をしている」が86.8%、次いで「食品等リサイクル業者と提携している」が23.5%となっている。

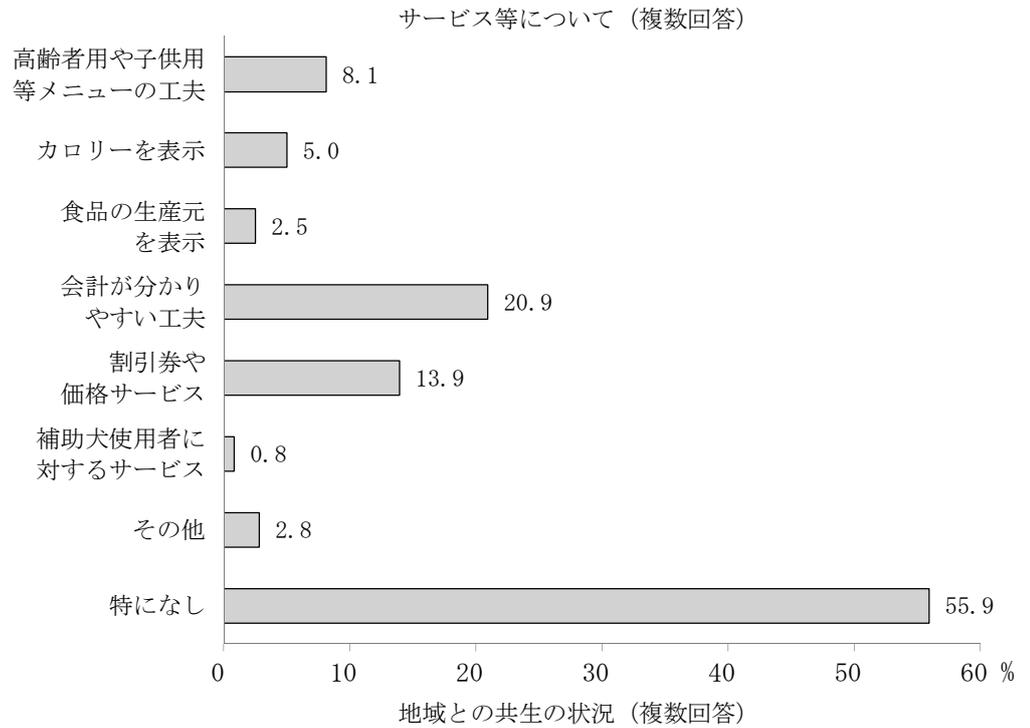
(図27) サービス等内容別施設数の構成割合 (単位：%)

ゴミ減量化・リサイクル実施状況 (単位：%)



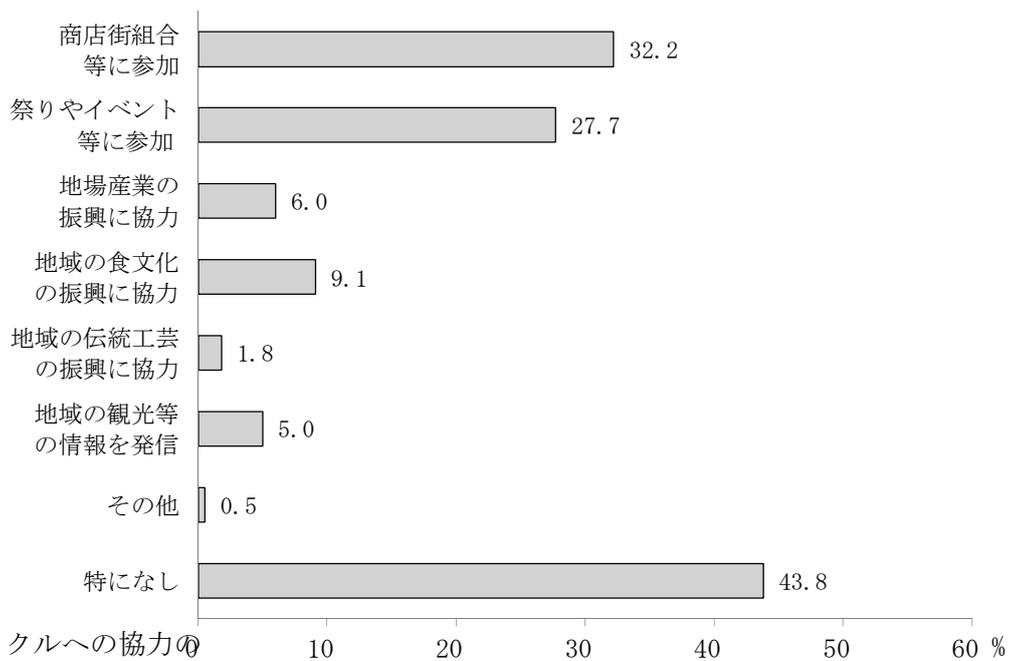
(2) サービス等について

サービス等の実施状況について割合を見ると、「会計が分かりやすい工夫をしている」が20.9%、次いで「割引券や特定日等の価格サービスをしている」が13.9%となっている。



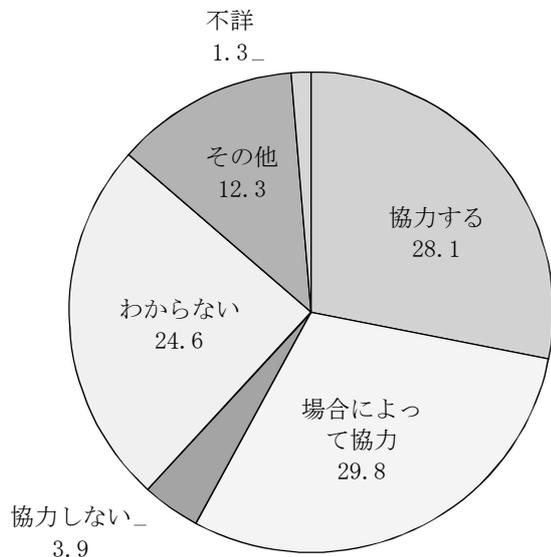
(3) 地域との共生の状況

地域との共生の状況について割合を見ると、「商店街組合等に参加している」が32.2%、次いで「祭りやイベント等商店街の共同事業に参加している」が27.7%となっている。



(図28) 廃食用油リサイクルへの協力の④

意思別施設数の構成割合（単位：%）



7 廃食用油関係の項目

廃食用油リサイクルへの協力の意思について割合を見ると、「場合によっては協力できる」が29.8%、次いで「協力する」が28.1%と全体の約6割を占めている。